



1月22日に湊地区公民館で第39回淡路精神保健福祉大会が開かれました。「〜知ることから始めよう〜」とともに支えあう人・地域・あわじ島」をテーマに、会場では島内の精神障害者支援関係団体の活動紹介などが行われました。

大ホールでは、自身も過去にうつ病を経験し、現在

共生社会の実現をめざして 精神保健福祉大会が開催

は北海道で働きづらい環境にある人の就労支援に取り組み株式会社ゆいの鹿内清和事務局長らが講演。また、精神疾患を抱える人が社会の中で暮らすこと、働くことをテーマに対談が行われ、精神疾患を抱える人やその家族、支援者など、それぞれの立場から体験談が語られました。



モデル事業者が求人募集などを説明

高齢者等元気活躍推進事業 働くシニア応援プロジェクト 「シニアのお仕事フェア」を開催

シニアが活躍できる職場環境の整備をめざして、1月23日に湊地区公民館で「シニアのお仕事フェア2020」を開催しました。この日は、60歳以上の市民ら35人が参加。ファイナンシャルプランナーの水俣文博さんによる講演会のほか、「働くシニア応援プロジェクト」モデル事業者である旅

館うめ丸と養護老人ホームさくら苑から、自社の魅力や求人募集についての説明や面接会がありました。

また、会場にはシルバール人材センターやハローワーク、ファイナンシャルプランナーとの相談ブースも設けられました。

南あわじ市では、今後も市内事業者と協力し、シニアが働きやすい環境づくりや特性に応じて活躍できる社会の創出に努めます。

4月から ゴミの収集方法が一部変わります

問環境課 ☎ 43-5214

衣類 (革製衣類、羽毛・綿入り衣類を含む)

- 再利用（リユース）が可能なもののみ「繊維類」として収集します（汚れ、痛みの激しいものは「燃えるゴミ」として出してください）
- 中身の見えるビニール袋（指定なし）に入れ、水が入らないよう袋の口を二重に縛って出してください
- 従来どおり、ひもで十字に縛って出していただいても引き取り可能です



靴 (下駄・室内用スリッパ除く)

- 左右揃っており、再利用が可能なもののみ、中央リサイクルセンターへの直接持ち込みに限り引き取ります（無料）
- 持ち込みの際は左右が分かれないう、ひもで縛ってください
- 再利用できない靴や下駄、室内用スリッパは「燃えるゴミ」として出してください



かばん (キャディーバッグ、ビニール製バッグを除く)

- 再利用が可能なもののみ、中央リサイクルセンターへの直接持ち込みに限り引き取ります（無料）
- キャディーバッグは「粗大ゴミ」、ビニール製バッグは「燃えるゴミ」、再利用できないものは大きさにより「燃えるゴミ」または「粗大ゴミ（一辺40センチ以上）」として出してください



家庭用パソコン

- 中央リサイクルセンターへの直接持ち込みに限り引き取ります（無料）
- 個人情報流出防止のため、持ち込む前に必ずパソコン内部のデータを消去してください



令和2年度版南あわじ市ゴミ収集カレンダーの配布について

令和2年度版南あわじ市ゴミ収集カレンダーを、各自治会を通じて3月末までに各戸配布します。自治会未加入の世帯は、市民交流センターまたは市役所1階総合案内でお渡しします。

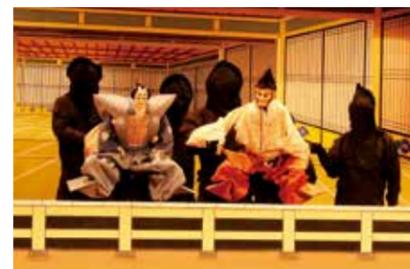


北海道の精神保健福祉の現状等について講演する鹿内事務局長ら



パイオニアの野口社長(左)と守本市長

(株)パイオニアから市へ寄付 企業版ふるさと納税を活用



淡路人形座の特別講演

株式会社パイオニア（大阪府）から、南あわじ市へ「企業版ふるさと納税」の第一号として100万円を寄付いただきました。寄付金は公益財団法人淡路人形協会への補助金として、淡路人形浄瑠璃の保存・伝承のために活用されます。1月25日には淡路人形座で感謝状の贈呈式が行われました。

この日は、淡路人形座の特別公演「たつぷり読んで唸って淡路人形座」が開催されており、約100人の観客が人形浄瑠璃のほか、落語や浪曲を鑑賞。公演の休憩中に贈呈式があり、守本市長から同社の野口万由美社長へ感謝状が手渡されました。

同社は南あわじ市出身の故・野口三次さんが創業。福良甲には工場があり、これまでにも市内保育園に教材を寄贈いただいています。

野口社長は「南あわじ市は自分にとっても故郷のように感じており、何か貢献できないかと思っていた。淡路人形浄瑠璃を広め、伝統芸能を守ってほしい」と話しました。